

平成28年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書(概要)

1 学校紹介

市川市南東部の船橋市に隣接する地域を学区とし、最寄駅は JR 総武線の下総中山駅である。創立 57 年目を迎えた、19 クラスの学校である。また、市川市内の中学校に 2 校併設されている日本語教室がある。

学校教育目標として、「やさしく たくましく 生きる人間に成長しよう」を掲げ、生徒は授業や学校行事、部活動等に積極的に活動している。

2 研究主題 「一人一人が主体的に学び・取り組み・行動できる生徒の育成」

～基礎・基本の定着を図り、生徒が意欲的に活動できる授業の在り方～

3 研究の概要

(1) 生徒の実態と課題

今年度実施された全国学力・学習状況調査の結果は、以下のとおりである。

国語・国語 A の「知識」は全国平均をやや上回った。「書くこと」は下回ったが、改善がみられる。

数学・数学 A では、いろいろな方法を説明する問題は正答率が低く、無回答の生徒も見られた。

特に「資料の活用」の分野では全国と比べて低い位置にある。

生徒質問紙・「1,2年の時に受けた授業の始めに目標が示されている」が、

全国と比較して肯定的な回答が向上している。

・「家で学校の授業の復習をしていますか」と「家で計画を立て

て勉強をしていますか」では、全国と比較して低い位置にある。



「めあて」を提示した授業

(2) 学力向上のための取組とその成果

○数学では、2、3 学年での習熟度別少人数授業→**発表や質問が増加**

○生徒の主体的な学習を活発に行うための研修や授業研究→**工夫した活動が増加**

○学期に一度の「授業観察」→**職員同士の参観による指導力の切磋琢磨が図られた**

○「授業評価」を実施→**結果を各職員に示し、具体的な授業改善事項を掲げ取り組んできた**

○「小中一貫した家庭学習への取組」についてブロック内小学校

と検討→**生活面での分析を検討予定**

○朝学習と小テスト

放課後「校内塾 まなびくらぶ」 } → **基礎・基本の定着**

○地域人材の活用→**体験的な学習やコミュニケーション力の向上**



地域の方と一緒に学ぶ学年道徳

(3) 加配教員（学習サポーターを含む）の活用とその成果

○3 学年の数学科において習熟度別少人数授業を実施

○2 学年の数学科において習熟度別少人数授業を実施

→ **・きめ細やかな指導
・主体的な学習活動の増加**

○校務分掌に「校内学力検証」を設置

→ **・検証活動に特化・横断的な活用・連携**

4 今後の課題

- ・アクティブ・ラーニングの指導法を取り入れ、話し合いや教え合う場を授業の中で組み込んでいく。
- ・職員の指導力向上の意識を今以上に高めていく。
- ・自己肯定感の育成や夢を持つことのできる魅力的な学校づくりの推進。